

中部地方整備局・PC建協 合同パトロール実施

PC建協中部支部では、毎年工事発注機関と合同で工事現場の安全パトロールを実施しています。平成26年10月9日に、中部地方整備局発注の「東海環状上切高架橋PC上部工事（PC9径間連続箱桁橋L1361.8m）」において、中部地方整備局職員とPC建協中部支部安全環境部会員（総勢20名）による合同安全パトロールを実施しました。上切高架橋工事は東海環状自動車道と東海北陸自動車道が接続する美濃関ジャンクションに近接する



合同パトロール状況

2期線の上部工事です。施工にあたっては、すでに供用している1期線との近接施工となること、さらに超高压送電線（27万5千V）が工事個所に並行して上空にあることから、資材の飛散防止、クレーン作業等における感電災害の防止等が特に重要な安全対策としてあげられる現場です。

安全パトロールでは、現場作業所長から工事の概要説明、安全対策として一部門型移動式クレーンの採用、GPS受信アンテナを活用した3Dクレーンブーム位置監視システムによる監視の取組み等の説明を受けた後、現場の点検を行いました。最後に反省会で改善点等、指摘事項を出し合い、更なる安全対策への取組みを図りました。

平成26年度 第37回全国安全 研修会開催

平成26年11月20日に、PC建協安全環境部会及び各支部合同（総勢49名）による全国安全研修会が初めて沖縄で開催されました。

本研修会は各支部安全環境部会員の安全・環境に対する勉強会を目的にしています。

はじめに、沖縄総合事務局発注の

規模の概略計画を公表しているところですが、事業の中心が床版取替え工事であり、その実施にあたってはPC床版の生産能力の確保、事業の円滑な実施のための発注方法の見直し等が課題になるとして、3社より、これらの課題解決に向けて当協会と実務的な意見交換等を行って行きたいとの協力依頼を受けています（今夏のNEXCO各社との面談等の場において）。これに対し、PC建協としてはできる限りの協力を行うことを表明しております。

■NEXCO床版委員会の設置

このような状況に対処するため、PC建協内にこの問題について検討するためのNEXCO大規模更新床版特別委員会（略称「NEXCO床版委員



研修会風景

「那覇港（浦添ふ頭地区）臨港道路（浦添線）海側橋梁上部工事（PC11径間連続箱桁橋L11837m）」において、安全パトロールを実施しました。現場は台風が多い地域の海上工事に対する対策がなされてい

ました。その後、研修会場に移動しました。本部から、「第3四半期安全成績及び今年の災害発生状況の発表」と「危険体感教育研修体験」の報告が行われました。続いて関東支部からは『東京五輪に伴うリニューアル工事「つり足場の災害」について』の報告がありました。

研修の最後に現場独自で実施され

会）を理事会直下の特別委員会として設置しました。

（9月11日理事会承認、9月24日委員会発足、委員は理事会メンバー会社14社から招集）

委員長 藤本良雄（㈱富士ビー・エス）
副委員長 春日昭夫（三井住友建設㈱）

■活動状況等

現在、NEXCO3社との意見交換等に備え、PC建協会員企業が行っている床版取替え工事の実態を調査し、検討課題の洗い出しを進めています。

【検討課題】

- ・PC床版の生産能力
- ・効率的な工事実施方法
- ・事業の円滑な実施のための、規格等の標準化、事業手法のあり方

NEXCO床版委員会の設置 と活動状況について

PC建協ではこれらの成果も踏まえながら引き続き工事協業と連携し、支部への展開そして支部からのフィードバックを図りつつ、連絡会議の取り組みを進めていくこととしております。

■NEXCO3社からの要請
NEXCO3社は「大規模更新・大規模修繕計画（概略）」として3兆円



全国のPC工場

ている安全ポイントによる表彰、ポイント数に応じた安全用品の交換制度等、安全意識の向上心を高める内容の報告がありました。

翌21日は、琉球王国時代より歴史のある波之上宮（なみのうえぐう）にて安全祈願を行いました。

技能労働者の処遇等に関する 工事協業との連絡会議の支 部への展開

PC建協は、25年6月、技能労働者の適切な賃金水準の確保や社会保険未加入問題を改善するため、PC



連絡会議風景

編集委員会 木下賢司(編集委員長)、 櫻福浄(編集副委員長)、 有馬浩史、 竹本伸一、 鈴木義児、 的場純一、 松嶋憲昭、 小山康寛、 高松正伸、
編集幹事会 手賀由成(幹事長)、 松山高広(副幹事長)、 廣部永隆(副幹事長)、 白石紀之、 胡信弘、 齋藤公生、 浅見聡、 西口直樹、 太田誠、 吉田健治、 清水郁子、 山口拓也、 西永卓司

編集後記

今号では先駆的なPC橋が多い神奈川を特集し、日本初のPC箱桁曲線橋の米神橋、世界初のエクストラードP.C橋の小田原ブルーウェイブリッジ、デザイン性に富んだ神秘的な陣ヶ下高架橋、江の島・酒匂川に架かるたくさんのPC橋をご紹介します。正月の箱根駅伝のランナーが走る東海道で、今号で取り上げたPC橋がいくつ見られるのか、別の意味でも箱根駅伝が楽しみになりました。

また、特別企画では則久会長を囲んで日本で活躍するアジアの方達に話を聞かせて頂きました。日本の企業を選んだ目的、今後のビジョンをはっきりと持っておられ、PC業界の発展にはダイバーシティが重要である事を再認識する機会となりました。

こんなところにも、あんなところにも多種多様に使用されているPC技術に一人でも多くの方に興味を持って頂き、PCのファンになって頂ければ幸いです。(浅見)